

東京・神保町にある築約80年の老朽化ビル「九段下ビル」に「写真」で、一龍斎貞水さんが講演を行うイベントが開かれる。一龍斎さんは、寄席での講演から学校公演、海外公演まで幅広く活躍しており、02年に講談界で初めて重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された第一人者。真夏の暑さを、得意の怪談物で涼しくしようという企画だ。

開催日は8月22日で、開演は午後

築80年の九段下ビルで 人間国宝による怪談の公演

7時30分。主催は、建築関係のデザイン事務所「領域探査デザイン」。完全予約制(有料)で、詳細はホームページ(<http://www.ryookikitan.sa.com/>)に掲載している。

九段下ビル(東京都千代田区神田神保町3の4の1)は、関東大震災の震災復興建築物で、1927(昭和2)年に竣工した。老朽化が進んでいるが、近年の廃墟ブームもあり、こうした建築物に関心を持つ人が少

なくないことから、同社が、建物内の一部をイベントスペースなどとして活用している。

廃墟でヒンヤリしませんか？

